

平成23年度 水稻関係生育調節剤試験判定結果

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成23年度水稻関係生育調節剤試験成績検討会は、平成23年12月5日、植調会館会議室（東京都台東区）において開催された。

本年は、健苗育成を目的としたもの1剤（適用性3点）、登熟向上を目的としたもの1剤（適用性

5点）、倒伏軽減を目的としたもの4剤（適用性15点）、但し内1剤は目的の異なる2試験について試験成績の報告および検討が行われた。

薬剤または目的別の判定結果は、次表の通りである。

平成23年度 水稻関係生育調節剤試験 供試薬剤および判定・使用基準一覧

〈健苗育成〉

No.	薬剤名 有効成分及び含有量 〔委託会社〕	試験目的	試験実施場所	判定	使用基準	継続の内容
1	SF-0702 粉 ヒドロキシノキサゾール:4.0% メタラキシルM:0.25% 〔三井化学アグロ〕	〔適用性〕 湛水直播栽培での根の 生育促進による苗立ち 率向上効果の検討	山形 水田農業試験場 京都 丹後農業試験場 佐賀 農業試験研究センター	害	湛水直播栽培における根 の生育促進による苗立ちの 安定 ・播種前 ・乾粒重量の3% ・過酸化カルシウム剤に添 加して種粒に粉衣する	

〈登熟向上等〉

No.	薬剤名 有効成分及び含有量 〔委託会社〕	試験目的	試験実施場所	判定	使用基準	継続の内容
1	イソプロチオファン1kg 粒 〔日本農薬〕	〔適用性〕 登熟向上効果の検討	植調福島試験地 新潟 県央研究所 植調青梅試験地 京都 農林センター 佐賀 農業試験研究センター	害・継	登熟向上効果 ・出穂10～20日前 ・1kg/10a ・湛水散布	年次変動について

〈倒伏軽減〉

No.	薬剤名 有効成分及び含有量 〔委託会社〕	試験目的	試験実施場所	判定	使用基準	継続の内容
1	SSDF18 粒 ウニコゾールP:0.004% N-P-K=21-11-10 〔住友化学〕	〔適用性〕 移植栽培での側条施用 における倒伏軽減効果 および薬害の検討	新潟 県央研究所 植調研究所(牛久) *油日アグリサーチ(滋賀)	継		効果・薬害の確認
2	SSDF20W 粒 ウニコゾールP:0.003% N-P-K=20-12-12 〔住友化学〕	〔適用性〕 移植栽培での全面施用 土壌混和処理における 倒伏軽減効果および薬 害の検討	宮崎 農業試験場 *油日アグリサーチ(滋賀) *島根大学	継		効果・薬害の確認
3	SSDF21 粒 ウニコゾールP:0.004% N-P-K=18-12-12 〔住友化学〕	〔適用性〕 移植栽培での側条施用 における倒伏軽減効果 および薬害の検討	新潟 県央研究所 植調研究所(牛久) 兵庫 農業技術センター *油日アグリサーチ(滋賀)	継		効果・薬害の確認

注：試験実施場所欄の「*」は、委託会社自主試験場所

〈倒伏軽減〉 つづき

No.	薬剤名 有効成分及び含有量 〔委託会社〕	試験目的	試験実施場所	判定	使用基準	継続の内容
4	SSDF21 粒 ウニコゾールP:0.004% N-P-K=21-11-10 〔住友化学〕	〔適用性〕 湛水直播栽培での全面 施用土壌混和処理にお ける倒伏軽減効果およ び葉害の検討 (耕起後処理での検討)	植調研究所(牛久) *油日アクリリチ(滋賀)	実・継	節間短縮による倒伏軽減 (直播水稻) ・全面土壌混和 ・代かき時 ・22.5～30kg/10a(基肥と して施用)	耕起時処理での効果・葉 害の確認
5	SSDF25 粒 ウニコゾールP:0.004% N-P-K=25-10-8 〔住友化学〕	〔適用性〕 移植栽培での側条施用 における倒伏軽減効果 および葉害の検討	植調研究所(牛久) 兵庫 農業技術センター *油日アクリリチ(滋賀)	継		効果・葉害の確認

注：試験実施場所欄の「*」は、委託会社自主試験場所